

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果

阿波市教育委員会

1 はじめに

全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、「令和4年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。

阿波市におきましては、阿波市全体の結果概要と改善の方策等について広く市民に公表し、保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら効果的な学力向上対策を推進していきたいと考えています。今後とも、学力向上についてのさまざまな施策の推進にご協力くださいますようお願いいたします。

※ 本市では、学力調査の数値結果や個々の学校名の公表は行っておりません。

2 全国学力・学習状況調査の概要について

(1) 調査対象

○小学校第6学年及び中学校第3学年の児童・生徒

(2) 調査内容

ア教科に関する調査

○小学校は国語、算数、理科とし、中学校は国語、数学、理科とする。

出題内容はそれぞれ次の(ア)と(イ)を一体的に問うもの

(ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

(イ)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

イ質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施
本年度の主な調査項目は以下のとおり

- ・挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
- ・地域や社会に関わる活動の状況等
- ・ICTを活用した学習状況
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・学習に対する興味・関心や授業の理解度等

(3) 実施日 令和4年4月19日(火)

3 調査結果

(1) 教科に関する調査結果

小学校は、国語・算数・理科の平均正答率が、全国平均を下回っております。中学校は、国語・数学・理科の平均正答率が全国平均を上回っているという結果となっています。

②国語については、

小学校は、思考力、判断力、表現力等の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の平均正答率が、全国平均を下回っております。「登場人物の相互関係について描写を基に捉えること」「文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整えること」に課題があります。

中学校は、知識及び技能の全ての分野「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」で全国平均を上回っています。「場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えること」に課題があります。

③算数・数学については

小学校は、「図形」や「変化と関係」の問題において、「図形の性質を基に構成の仕方について考察し記述すること」や、「分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察すること」に課題が見られます。

中学校は、「数と式」、「関数」、「データの活用」については、全国平均を上回っています。「図形」については、「証明の根拠の条件の理解」や、「筋道を立てて事柄が成り立つ理由を証明すること」に課題があります。

④理科については

小学校は、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域の平均正答率が全国平均を下回っています。「自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること」に課題があります。

中学校は、「生命」「地球」を柱とする領域の平均正答率が全国平均を上回っています。

「エネルギー」「粒子」を柱とする領域の「予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことができるかどうかをみること」に課題があります。

⑤中学3年生が小学6年生だった時の全国学力調査結果と今年度の調査結果を比べてみると、国語・数学・理科の全国の平均正答率を上回り、3年間で学習の定着が図られたことがわかります。

(2) 生活習慣習環等に関する調査結果

○学習時間

「学校の授業以外に普段・土日どのくらい勉強しているか」の回答では、1時間以上勉強をしている小学生の割合は、阿波市が平日54%・土日57%で、全国平均は平日59%・土日56%となっており、阿波市の小学生は平日の勉強時間が短いことがわかります。中学生については、阿波市が平日74%・土日85%で、全国平均は平日70%・土日80%となっており、阿波市の中学生は勉強時間が長いことがわかります。

中学3年生が小学6年生だった3年前の調査では、平日のみの学習時間の調査があります。その結果では、1時間以上勉強をしている小学生の割合は、阿波市が61%、全国平均が66%で、勉強時間が短かったことがわかります。中学生になり、学習時間が増えたことも、学力が向上している要因の一つだと考えられます。

○学校に行くのが楽しいと思うか

「学校に行くのが楽しい」割合が、阿波市の小学6年生が88%、全国平均が85%、阿波市の中学3年生が87%、全国平均が83%となっています。阿波市の前回調査（小学生85%、中学生86%）と比べると上回っています。各学校では、コロナ禍の中でも感染防止に努めながら、子どもたちが楽しいと感じる教育活動を実施できていたと言えます。

平日1日の勉強時間（小学校）



土日1日の勉強時間（小学校）



平日1日の勉強時間（中学校）



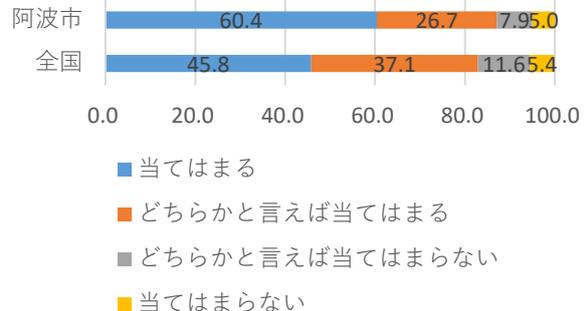
土日1日の勉強時間（中学校）



学校に行くのは楽しいと思いますか
(小学校)



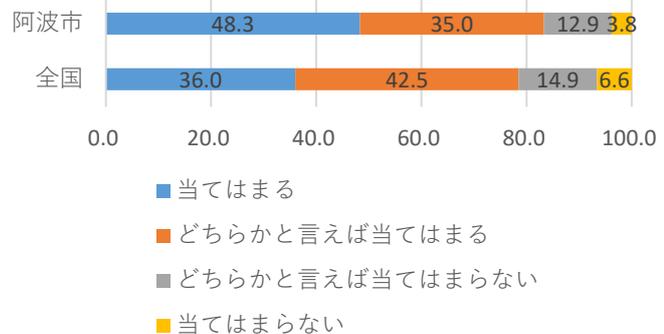
学校に行くのは楽しいと思いますか
(中学校)



○自分にはよいところがあると思うか

「自分にはよいところがある」と回答した阿波市の小学6年生が80%、全国平均が80%と同じ割合となっていますが、阿波市の中学3年生では83%、全国平均79%と大きく上回っています。

自分には、よいところがあると思いますか
(中学校)



○将来の夢や目標を持っているか

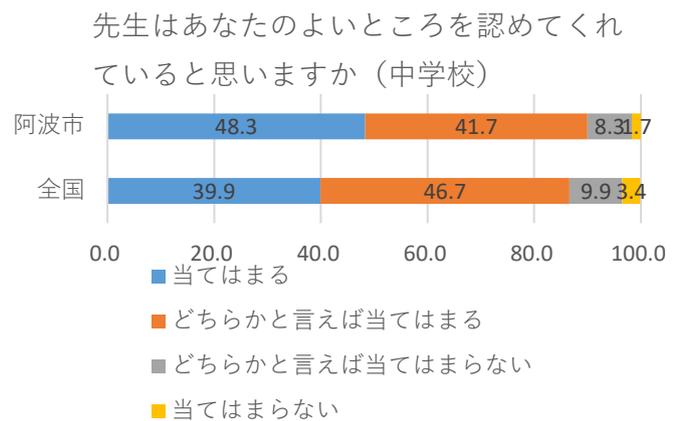
「将来の夢や目標を持っている」と回答した阿波市の小学6年生は82%、全国平均が80%、阿波市の中学3年生が73%、全国平均が67%となっています。

将来の夢や目標を持っていますか
(小学校)



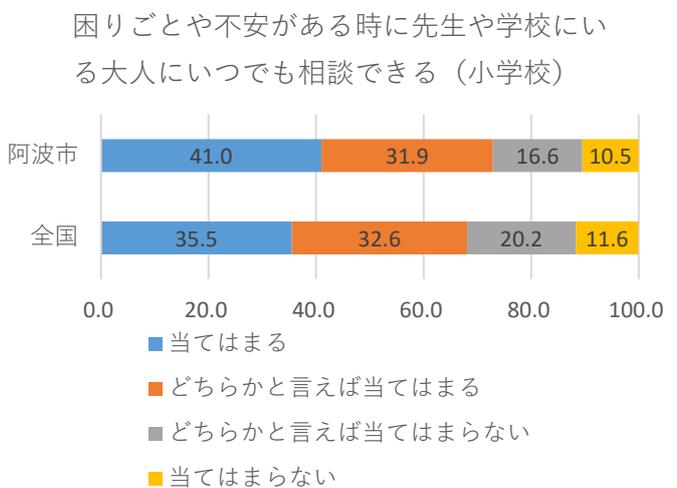
○先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うか

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した阿波市の小学6年生が90%、全国平均が87%、阿波市の中学3年生が90%、全国平均が87%となっており、おおむね信頼関係が築けているのではないかと思います。



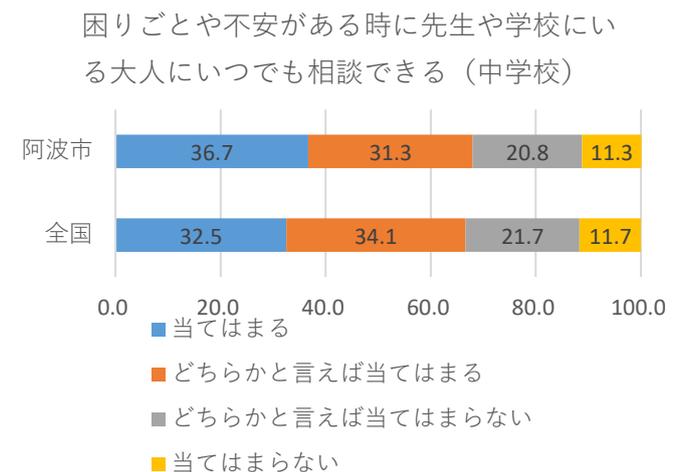
○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した阿波市の小学6年生が73%、全国平均68%、阿波市の中学3年生が68%、全国平均67%となっています。この項目でも、全国平均よりは高い結果となっていますが、さらに家庭や関係機関との連携を図り、安心できる環境作りに努めていく必要があります。



以上の結果から考察すると、児童生徒と教師の信頼関係が築かれ、相談しやすい状況にあり安心して学校生活を送れ、学校に楽しく通うことができていると思われま

す。また、自己肯定感が高まり、将来の夢や目標が持て、学習に前向きに取り組む学習時間が増えたことが、学力向上に影響していると考えられます。



4 阿波市の学力向上への取組方針

- 学力向上のための教員の研修会を実施し、指導方法の工夫改善に努めます。
- 学力向上推進講師を派遣し、TT指導や個別支援を行います。
- ICTを活用した学力向上のための取組を推進します。
- 学力向上推進コーディネータが学力向上推進講師への助言を行います。
- 授業公開や研修会等、小中学校の連携を進め、共通取組体制の確立を進めます。
- 読書活動の推進を図り、児童生徒が読書を通して言語に関する興味や関心を高める取組を促進します。
- 家庭と連携して、家庭学習の充実を図ります。

5 保護者・地域の皆さんへ

子どもたちの学力向上に向けて、生活リズムを整え、学習習慣や読書習慣を身につけるためには、学校と家庭や地域が連携しながら進めることが大切です。

家庭学習の充実や基本的な生活習慣の確立に向けてご協力をよろしくお願いいたします。

- 家庭で学習する習慣を身につけさせましょう。
 - ・ 毎日決まった時間に学習するなど、計画を立てて学習すること。
 - ・ 学校の宿題を確実にすること。
 - ・ 予習、復習に取り組むこと。
 - ・ 学習に集中できる環境をつくること。
- 基本的な生活習慣を身につけさせましょう。
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはんを習慣づけること。
 - ・ 家族のふれあいや話し合いの時間を設けること。
 - ・ テレビゲームやスマホなどの使用についてのルールを決めること。
- 新聞や本を読む習慣を身につけさせましょう。
 - ・ 親子読書や読み聞かせなど、新聞や本に親しむ環境をつくること。
 - ・ 新聞や本を読むことで、読解力や語彙力を高めること。
 - ・ 社会の出来事に興味を持ち、一般的な知識を身に付けること。

今後ともご協力くださいますようお願いいたします。